



調査結果についてのお知らせ



1. 子ども教育の連携に関する児童生徒アンケートとは

市内の子ども達の学習・生活上の実態を把握するために行っている調査です。

草加市が大切にしている「**自己肯定感**、**自己有用感**、**他者理解**」に関する内容や、**目指す「草加っ子」**に関する内容について調査しています。

今回は「**他者理解**」に関する様子をお知らせします。

【対象】 小学校3年生～中学校3年生の児童生徒

【方法】 個人用タブレット端末を使った電子回答

【時期】 令和6年9月

「**他者理解**」とは

他の人のよさを認め、大切にすることができる状態のこと。



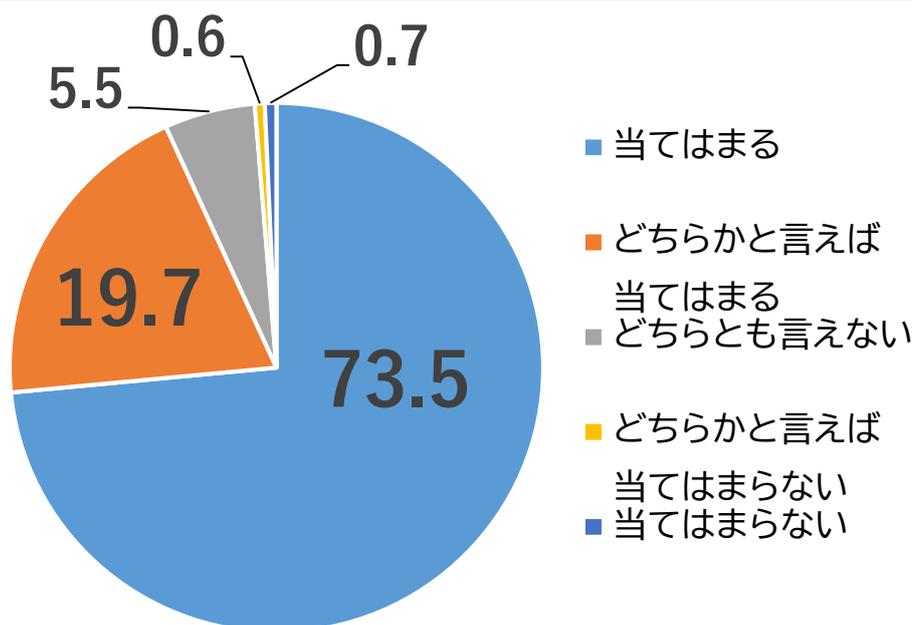
調査結果についてのお知らせ



2. 他者理解に関する調査結果

次の設問への回答状況から**他者理解**に関する実態を把握しています。

- ① 他の人にもよいところがあると思う。
- ② 自分とはちがう考え方や性格を、受け入れることは大切であると思う。
- ③ 他の人のよさを大切にしている。



他者理解
93.2%



他者理解に関する設問では、市内の**9割を超える**子どもたちが「当てはまる」又は「どちらかと言えば当てはまる」と回答しました。

内容についてお子さんと話し合ったり
ご家族が考える **その子らしいよさ** を
改めて伝えたりしてみませんか。



調査結果についてのお知らせ



3. 我が子の他者理解を育むために家庭でできること

子ども達には、一人ひとりによさや可能性があります。まずは、大人が子どもの考え方や個性を認め、大切にしていきましょう。その子らしさの中にこそ、よさがあることに気づかせてあげてください。

【小学校1～3年生なら】

- 子ども同士のトラブルでは、お互いの思いをていねいに伝え合えるよう支援します。

【小学校4～6年生なら】

- 友達同士でよいところを素直に伝えられるような声掛けをします。

【中学生なら】

- 様々な価値観に触れさせ、多様な存在を大切にできるように見守ります。

次のURL又は二次元コードから、草加市教育委員会が発行している「保護者向け子育てリーフレット」を見ることができます。

子どもとの関わり方について、多くのヒントが載っています。

<https://x.gd/iYJsw>

